

# seeTouch® QS 補助コントロール 取付説明書

必ずお読みください  
低電圧機器

DC24 V  $\leq$  30 mA

- QSW2-1B
- QSW2-2B
- QSW2-3B
- QSW2-5B
- QSW2-7B
- QSW2-2BRL
- QSW2-3BRL
- QSW2-5BRL
- QSW2-2BRLIR
- QSW2-3BRLIR
- QSW2-5BRLIR
- QSW2-1RLD
- QSW2-2RLD
- QSW2-3BD

## 配線の注意点

- システム最大値
  - － GRAFIK Eye® QS シリーズのコントロールユニット1台で最大3台の補助コントロールに電源を供給できます。
  - － 配線の最大長は150 m。
  - － 使用温度範囲は0-40 °C、相対湿度90%以下。
  - － 接続可能な機器は1システムで100台まで(seeTouch™ QS、Sivoia® QS、調光盤、GRAFIK Eye QSはそれぞれ1台として数えます)。またゾーンは、1システムにつき100ゾーンまで割り当てることができます。
- コントロールリンク配線
  - － ルートロン専用4芯ケーブルGRX-CBL-346Sを使用します。
- センサ/接点入力コネクタの配線：
  - － CPEVS-0.9mm-2P 等 推奨。
- 補助コントロールとコントロールリンクは、深型スイッチボックス(他社製品)の中で接続してください。
- コントロールリンクは、電源と同じ配管内には絶対に設置しないでください。誤動作の原因となります。
- コントロールリンクの最大配線長は必ず150 m 以内にしてください。
- コントロールリンクには、ドレイン/シールド線があります。シールド線は絶対にアースには接続しないでください。
- 電源ケーブルおよびデータケーブル(コントロールリンク)配線上の注意点や制限については、コントロールユニット取扱説明書および仕様書を参照して下さい。

補助コントロールの取り付けや配線は、国内または地域で適用される配線関連法規に従って行ってください。

### **A** 注意!

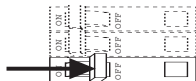
- 本説明書をよくお読みいただき、正しく設置してください。
- 補助コントロールの取り付けは、電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- 100V電源配線を低電圧用端子に接続しないでください。不適切な配線は、人身事故や、コントロールユニットをはじめとする各機器の損傷につながる恐れがあります。
- フェースプレートを拭く場合は、必ず低刺激性の石鹼水(ぬるま湯)を使用します。(化学洗浄剤は使用しないでください)。

## 取り付け

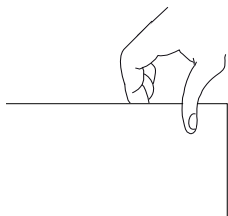


警告深刻な人身事故につながる可能性がありますので、必ずブレーカーをオフにしてから作業を始めてください。

1. 電源をオフにする。ブレーカーをオフにします。



2. スイッチボックスを取り付ける。奥行き 45mm 程度の 1 個口用深型スイッチボックスを取り付けます。
3. 補助コントロールを準備する。フェースプレートを取り外し、保管しておきます。

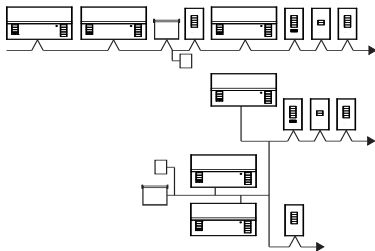


4. 電線を準備する。被覆を 10 mm むき、裸線を露出させます。

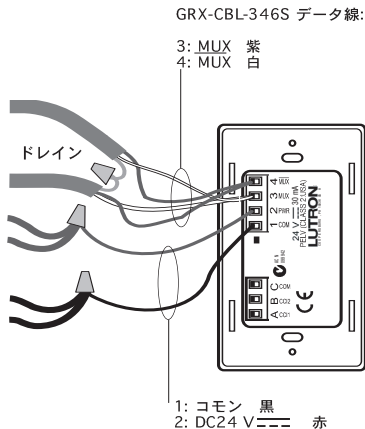


各補助コントロール端子には、1.0 mm<sup>2</sup> の電線を 2 本まで接続できます。

注意：配線は下図のような一筆書きまたは T タップ配線にしてください。



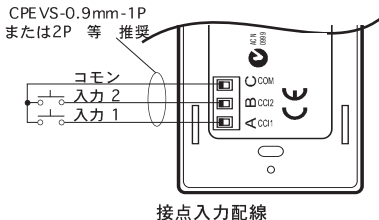
5. 補助コントロールをコントロールリンク GRX-CBL-346S に接続する。接続は、1:黒、2:赤、3:紫、4:白となるようにしてください。シールド(ドレイン)線は下図に示すとおり、まとめて接続しておく必要があります。また、シールド線をアースまたは補助コントロールに接続しないでください。



コントロールリンク配線

注意: 圧着端子等を使用する場合、国内の電気工事規定に適したものを使用してください。(図は米国で使用される一般的な例を示しています)。

6. 補助コントロールを外部接点出力 (存在する場合のみ) に接続します。接続する接点が1つの場合は接点を補助コントロールの端子 A (センサー/接点入力コネクター) に接続します。接点入力を2つ使用する場合は、端子 A および B を使用します。または接点入力のコモン線は端子 C に接続してください。

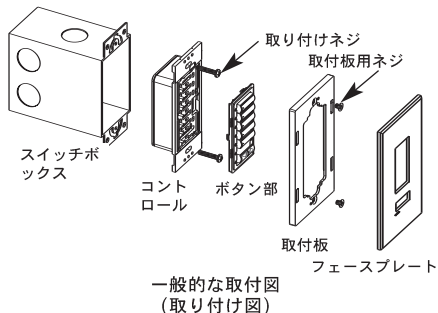


#### 接点入力に関する注意:

外部接点入力を使用する場合、補助コントロールと他社製機器の適合チェックが必要です。補助コントロールが認識する接点入力は、無電圧a接点で、出力が少なくとも0.4秒間は開放または閉じた状態を維持する必要があります。接点出力機器の適合についてご不明点がある場合は、接続する他社製外部機器に付属の仕様書でご確認いただくか、またはその機器の製造メーカーにお問い合わせください。

接点入力の設定はGRAFIK Eye のコントロールユニットで行います。補助コントロールの一番上または下にあるボタンで操作してください。

7. 補助コントロールを取り付ける。補助を下図のように取り付けます。コントロール本体とボックスの上下をネジでとめ、フェースプレート取付板、ボタン部、フェースプレートを取り付けます。



8. 電源をオンにする。ブレーカーをオンにします。

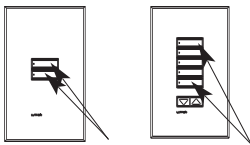
#### 注意

- 設置されただけでプログラミングされていない QS 補助コントロールと QS コントロールユニットは、それぞれプログラミングされるまでは連動しません。
- 補助コントロール ボタンの LED が点灯している場合（そのボタンがプログラミングされていれば）、それが最後に選択されたシーンであることを示しています。

## システム通信

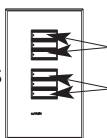
補助コントロールがコントロールユニットと通信するためには、各補助コントロールを「聞き手」のコントロールユニットに対し「話し手」になるよう設定する必要があります。

1. セットアップモードにする。補助コントロールの一番上と下のボタン（アップ/ダウンボタンは押しません）を3秒間押し続けます。1ボタンの補助コントロールの場合は、そのボタンを10秒間押してください。LEDが上から下に循環点滅します。



補助コントロールが「話し手」  
補助コントロールの一番上と下のボタンを押してセットアップモードにします。

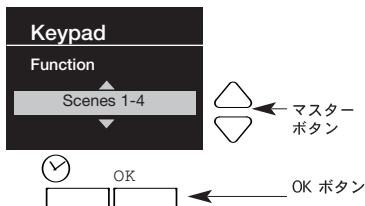
注意: ボタンが2セットある補助ステーションの場合、各セットが独立した補助ステーションとしてプログラミングします。Sivoia QSなど複数のグループを制御する補助コントロールの場合、上のボタンセットを各照明または電動カーテンのグループを制御するようにプログラミングし、下のボタンセットを複数グループの制御用に設定します。制御を選択できるのは一度に1グループだけです。



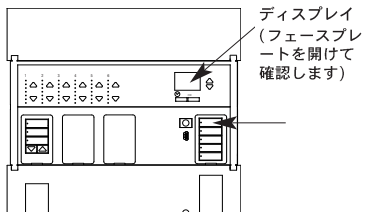
2. 補助コントロールの機能を変更する（オプション）。補助コントロールの機能を変更する場合は、OK ボタンを押して変更を決定します。

ディスプレイの Keypad（キーパッド）メニューに、ご使用の補助コントロールモデルが話し手として使用できる機能が表示されます。図はボタンが5つでアップ/ダウンボタンのある補助コントロール（QSWS2-5BRL）の例を示しています。

ディスプレイ横のマスターボタンを使用し、機能一覧をスクロールします。ご希望の機能が表示されたら OK ボタンを押して決定します。

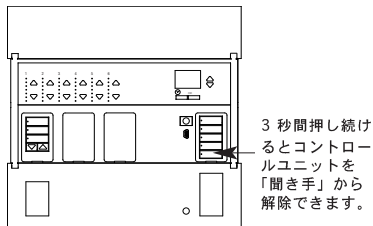


3. GRAFIK Eye QS コントロールユニットを設定する。コントロールユニットで点灯しているキーパッドの一番上のボタンを、LEDが一齐に点滅を開始するまで、押し続けます。ディスプレイにキーパッドメニューが表示されたら、設定を実行・完了します。現在設定中の補助コントロールに対して「聞き手」となるすべてのコントロールユニットに、同様の操作を繰り返します。



コントロールユニットが「聞き手」点灯しているボタンの一番上を3秒間押し続け、コントロールユニットを「聞き手」にします。

注意: コントロールユニットを補助コントロールの「聞き手」から解除するには、補助コントロールをセットアップモードにし、解除するコントロールユニット上の点灯しているキーパッドの一番下のボタンを押します。



4. セットアップモードを終了します。LEDが循環点滅をやめるまで、補助コントロールの一番上と一番下のボタンを3秒間押し続けます。



補助コントロールの一番上と下のボタンを押してセットアップモードを終了します。

## SeeTouch® QS 補助コントロール

### ボタンの機能

次の各項目は、補助コントロールをセットアップモードにしたとき (P6参照) に選択できる機能のメニューで、*GRAFIKEye QS* では、ディスプレイにそれぞれの機能がキーパッドメニューとして表示されます。各機能の詳細は以下の説明をご覧ください。また補助コントロールと各コントロールで選択できる機能の一覧表が次のページに記載されています。

### シーン選択 (Scenes) :

補助コントロールで、プリセットシーンのリストからご希望のシーングループを各ボタンに割り当てることができます。割り当て可能なシーングループのリストは、次のページをご覧ください。

### ゾーン選択 (Zone) :

1 つまたは複数のゾーンを補助コントロールの各ボタンに割り当てることができます。補助コントロールでゾーンを割り当てるボタンを押し、コントロールユニットのゾーンアップ/ダウンボタンで各ゾーンの照明レベルを設定、ゾーンアップ/ダウンボタンを同時に押してそのゾーン設定を確定します。各コントロールユニットで、補助コントロールのボタンに割り当てたゾーンのコントロールユニットすべてで同様の操作を繰り返します。割り当てたゾーンはその照度で点灯・消灯が可能で、割り当てられていないゾーンは中央の LED 3 つが点灯します。

### パーティション (Partition) :

複数のパーティションで間仕切りをする部屋に使用します。パーティションの割り当てを行ったボタンの LED がパーティションの開閉状態を示します。LED が点灯している場合はパーティションが開いている状態を示し、各コントロールユニットは連動して作動します。LED が消灯している場合は閉じている状態を示し、各コントロールユニットは各間仕切り空間ごとに個別に作動します。パーティション用に設定した補助コントロールには、他の機能 (シーン選択など) の機能をかぶせることはできません。

パーティションとクリア (Partition and Clear) : 5 ボタン補助コントロールのみ。上から 4 つの各ボタンがパーティション用ボタンとして機能し、一番下のボタンですべてのパーティションが閉じた状態 (各コントロールユニットは独立) に復帰することができます。

### 2B パーティション (2B Partition) :

2 ボタン補助コントロールのみ。上のボタンがパーティションの開いている状態 (聞き手のコントロールユニットは連動) を、下のボタンがパーティションの閉じている状態 (聞き手のコントロールユニットが独立) を示します。

### 2B 微調整 (2B Fine Tune) :

2 ボタン補助コントロールのみ。割り当てたゾーンのアップ/ダウンボタンとして作動します。ゾーンの割り当ては、コントロールユニットの割り当てたいゾーンのアップ/ダウンボタンを同時に押して行います。割り当てを変更する場合はこの操作を繰り返します。

### 2B シーケンス (2B Sequence) :

2 ボタン補助コントロールのみ。この機能では、設定したフェードを使用し、シーン5~16までを順次繰り返して作動させることができます。主にショールームなどで使用します。各シーンは、通常通りプログラミングしてください。

### シーン16の選択/ロックと解除 (2B Panic) :

2 ボタン補助コントロールのみ。ボタンを押すと、割り当てたゾーンがすべてシーン 16 に移行し、接続するすべての補助コントロールとコントロールユニットのボタンがすべてロック (押しても反応しない) されます。

### トグル機能 (Toggle) :









1 ボタン補助コントロールのみ。ボタンを押すとシーン 1 とオフの切り替えができます。

注意: コントロールユニットに接点入力を通じて機器が接続されている場合、CC11 は一番上のボタン、または CC2 は一番下のボタンの機能として動作します。

例外: 2 ボタン補助コントロールの場合、CC11 の開放で上のボタン、入力で下のボタンの機能として動作します。



## SeeTouch® QS 補助コントロールボタン機能一覧表

		 	 	 	
	Buttons数				
キーパッド機能	1	2	3	5	7
ゾーン選択	0	0	0	0	0
パーティション			0	0	0
2B パーティション		0			
パーティションクリア				0	
ゾーンロック		0			
微調整		0			
シーケンス		0			
シーン16の選択/ ロックと解除		0			
シーン選択	1、オフ (トグル機能)	1、オフ 9、10 13、14	1-3 5-7 13-15	1-4、オフ 5-8、オフ 9-12、オフ 13-16、オフ	1-7 9-15



3 ボタン補助コントロールが 2 つと見なしてプログラミングします



2 ボタンと 3 ボタン補助コントロールがそれぞれ 1 つずつと見なしてプログラミングします。



2 ボタン補助コントロールが 2 つと見なしてプログラミングします

### 注意

各基本機能の詳細については前ページをご覧ください。

ボタンが 2 セットある補助コントロール: 各セットは個別に機能し、別々にプログラムすることが可能です。

アップ/ダウンボタンのある補助コントロール: アップ/ダウンボタンは補助コントロールがゾーンまたはシーンのコントロールを行う場合にのみ機能します。

## トラブルシューティング

### 問題

### 原因

GRAFIKEye QSコントロールユニットと通信できない。

- コントロールリンクのデータ線 3 および 4 が誤配線または接続不良。
- 補助コントロールのプログラミングが完了していない、または正しくプログラミングされていない。

補助コントロールのボタンが作動しないまたは、LEDが状態を正しく表示しない。

- 補助コントロールの誤配線。
- 補助コントロールに電源が供給されていない。
- 補助コントロールが正しいコントロールユニットに対してプログラミングされていない。

LEDが点灯しない。

- コントロールリンクの誤配線もしくは接続不良。

接点入力が正しい動作をしない。

- 補助コントロールのセンサー/CCI の誤配線または接続不良。
- 補助コントロールのプログラミングが完了していない、または正しくプログラミングされていない。

補助コントロールのボタンが正しく機能しない。

- 補助コントロールのプログラミングが完了していない、または正しくプログラミングされていない。

## Lutron Electronics Co., Inc.

限定保証ルートロン アスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より1年間を限度として、部品や製造上欠陥のあるユニットを修理または交換いたします。保証サービスの適用にあたっては、不具合のあるユニットをルートロンアスカ株式会社へ返送していただく必要があります。詳細はルートロン アスカ株式会社までご連絡ください。本保証書は単一の明文規定とし、商品化の黙示保証および日本の民法(瑕疵担保)のもとの黙示保証の適用は購入から1年に限定されます。本保証には、取り付け、取り外し、再取り付け、および誤用や乱用、不十分・不適切な修理に直接起因する損傷、あるいは配線ミス、取り付けミスに関する費用は含まれません。また、本保証は、付随的、間接的に発生する損傷や特殊な損傷をカバーするものではありません。なお、ルートロンアスカ株式会社から、ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に直接または間接的に起因する損傷に対して請け負う責任は、ユニット本体の購入価格を超えないものとします。本製品は、以下に示す1つまたは複数の特許により保護されています。4,797,599; 4,803,380; 4,835,343; 4,893,062; 4,924,151; 5,038,081; 5,191,265; 5,430,356; 5,463,286; 5,530,322; 5,949,200; 5,990,635; 6,091,205; 6,380,692; DES 311,130,349; DES 311,170; DES S311,371; DES 311,382; DES 311,485; DES 311,678; DES 313,738; DES 317,593; DES 335,867; DES 344,264; DES 370,663; DES378,814; D387,736; D412,315; D412,491; D422,567; D436,930; D453,742; D456,783D461,782LUTRON

## 除外と限定事項

本保証で明確に規定されている場合を除き、特定目的への適合性や商品性などに対する明示的または黙示的ないかなる保証も行わないものとします。ルートロンは装置の中断のない動作や誤動作などを保証するものではありません。

ルートロンの販売店・社員・代理店には、装置の保証に関するいかなる確約・説明・保証についても、ルートロンを拘束する権限がないものとします。販売店・社員・代理店が確約または説明もしくは保証した内容が、本保証またはLUTRONの標準印刷物に具体的に記述されている場合を除き、ルートロンとお客様の契約条件をなすことはなく、したがってルートロンに対するいかなる拘束力もありません。

ルートロンおよびその他関係者は、いかなる場合も懲罰的損害・間接的損害・偶発的損害・特殊損害に関して責めを負わないものとします。(利益損失・機密またはその他の情報損失・プライバシーの損失、事業の中断、人的損傷、誠意や注意を含む義務の不履行、怠慢などにより発生する経済上またはその他のいかなる損失も含みますがこれに限定されません)また、装置の取付け・取外し・使用または使用不能に起因・関連し、ルートロンの書面による同意なく行われた修理または、本保証およびこの保証を含むその他同意に関連しそのもで行われた修理についても責任を負わないものとします。ルートロン社およびその供給業者による過失・不法行為(怠慢を含む)・厳格責任・契約不履行・保証不履行の場合や、ルートロン社や供給業者がかかる損害について知らされていた場合でも同様です。

お客様がご自身の損害の理由および種類にかかわらず(あらゆる直接的損害および上述のすべての損害を含みますがこれに限定されるものではありません)、装置の製造・販売・取付け・配送・使用・修理・交換に起因・関連して発生した損害に関する保証サービスに関するLUTRON社およびその他関係者の本保証のもので全責任、または、この保証を含むあらゆる合意、および上述のお客様に対する救済は装置のお買い上げ額を上限とします。上述の制限・除外・免責事項は、保証サービスの目的(救済)が果たされなかった場合でも、適用法令が認める最大限の範囲で適用されます。

これらの製品は下記に示す1つ以上の米国特許で保護されています。4,835,343 およびこれに対応する各国の特許。その他米国および各国特許申請中。

米国電気記号体系、NECおよびNFPAはNational Fire Protection Association, Inc., Quincy, Massachusettsの商標です。

Lutron, Lutronロゴ、Svoia、seeTouch、GR AFIK EyeはLutron Electronics Co., Inc.の登録商標です。

© 2007 Lutron Electronics Co., Inc.

# 連絡先

インターネット: www.lutron.com/japan  
電子メール: asuka@lutron.com

## WORLD HEADQUARTERS

### USA

Lutron Electronics Co., Inc.  
7200 Suter Road, Coopersburg, PA 18036-1299  
TEL: +1-610-282-3800  
FAX: +1-610-282-1243  
Toll-Free 1-888-LUTRON1 (in USA)  
Technical Support: 1-800-523-9466 (in USA)

### Brazil

Lutron BZ do Brasil Ltda.  
AV. Brasil, 239, Jardim America  
Sao Paulo-SP, CEP: 01431-000, Brazil  
TEL: +55-11-3885-5152  
FAX: +55-11-3887-7138

### North and South America Technical Hotlines

USA, Canada, Caribbean: +1-800-523-9466  
Mexico: +1-888-235-2910  
Central/South America: +1-610-282-6701

## EUROPEAN HEADQUARTERS

### United Kingdom

Lutron EA Ltd.  
6 Sovereign Close, London, E1W 3JF United Kingdom  
TEL: +44-(0)20-7702-0657  
FAX: +44-(0)20-7480-6899  
FREEPHONE (UK): 0800-282-107  
Technical support: +44-(0)20-7680-4481

### France

Lutron LTC, S.A.R.L.  
90 rue de Villiers, 92300 Levallois-Perret France  
TEL: +33-(0)1-41-05-42-80  
FAX: +33-(0)1-41-05-01-80  
FREEPHONE: 0800-90-12-18

### Germany

Lutron Electronics GmbH, Landsberger Allee 201,  
13055 Berlin, Germany  
TEL: +49-(0)30-9710-4590  
FAX: +49-(0)30-9710-4591  
FREEPHONE: 0800-5887-6635

### Italy

Lutron LDV, S.r.l.  
FREEPHONE: 800-979-208

### Spain, Barcelona

Lutron CC, S.R.L.  
Gran Via de Carlos III, 84, planta 3ª,  
08028, Barcelona, Spain  
TEL: +34-93-496-57-42  
FAX: +34-93-496-57-01  
FREEPHONE: 0900-948-944

### Spain, Madrid

Lutron CC, S.R.L.  
Calle Orense, 85, 28020 Madrid, Spain  
TEL: +34-91-567-84-79  
FAX: +34-91-567-84-78  
FREEPHONE: 0900-948-944

## ASIAN HEADQUARTERS

### Singapore

Lutron GL Ltd.  
15 Hoe Chiang Road, #07-03 Euro Asia Centre,  
Singapore 089316  
TEL: +65-6220-4666  
FAX: +65-6220-4333

### China, Beijing

Lutron GL Ltd. Beijing Representative Office  
5th Floor, China Life Tower  
No. 16 Chaowai Street, Chaoyang District, Beijing  
100020 China  
TEL: +86-10-5877-1817  
FAX: +86-10-5877-1816

### China, Guangzhou

Lutron GL Ltd. Guangzhou Representative Office  
Suite A09, 23/F Tower A, Centre Plaza  
161 Lin He Xi Lu, Tian He District, Guangzhou 510620  
China  
TEL: +86-20-2885-8266  
FAX: +86-20-2885-8366

### China, Shanghai

Lutron GL Ltd., Shanghai Representative Office  
Suite 07, 39th Floor, Plaza 66  
1266 Nan Jing West Road, Shanghai, 200040 China  
TEL: +86-21-6288-1473  
FAX: +86-21-6288-1751

### China, Hong Kong

Lutron GL Ltd.  
Unit 2808, 28/F, 248 Queen's Road East  
Wanchai, Hong Kong  
TEL: +852-2104-7733  
FAX: +852-2104-7633

### 日本

ルートロンアスカ株式会社  
107-0052 東京都港区  
赤坂1-9-20 第16興和ビル南館4階  
TEL: 03-5575-8411  
FAX: 03-5575-8420  
フリーダイヤル: 0120-083-417

### Asia Technical Hotlines

Northern China: 10-800-712-1536  
Southern China: 10-800-712-1536  
Hong Kong: 800-901-849  
Indonesia: 001-803-011-3994  
日本: 0120-083-417  
Macau: 0800-401  
Singapore: 800-120-4491  
Taiwan: 00-801-137-737  
Thailand: 001-800-120-665853  
Other countries: +65-6220-4666